

## 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	全日本病院学会（論文）(No.55)
研究責任者 (所属)	和田 樹昂（放射線科）
研究実施期間	2024/1/17～2024/3/31
研究等の概要	<p><b>【背景・目的】</b> 急性期肺血栓塞栓症（PTE）精査の造影 CT 検査時、CT 撮影室で心肺停止(CPA)をきたした症例を 2 例経験した。特異性を認めたため症例報告する。</p> <p><b>【方法】</b> 2018 年 1 月から 2023 年 3 月までに PTE 疑いの造影 CT 検査の内、68 例が放射線科医による読影にて PTE と判断された。68 例の画像所見、バイタル、採血結果、臨床症状を比較し CPA に至った患者の特異性を調べた。</p> <p><b>【結果】</b> 68 例の内、4 例に単純、造影 CT とともに右室が左室より拡大していた。4 例の内 2 例のみが検査前の収縮期の血圧が 90mmHg を下回っていた。CPA 患者のみが造影検査前より、右室の拡大と血圧低下を認めた。</p> <p><b>【考察】</b> PTE 疑いで血圧低下、右心不全の患者に急速造影剤静注をしたことで、血栓が伸展し広範囲な PTE を発症したと思われる。よって左心系に血流障害がおき CPA を引き起こしたと考えられる。</p> <p><b>【結語】</b> 右室の拡大、血圧低下の症例で CT 造影を行った場合、重篤化する可能性があると考え報告した。</p>
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ窓口

倫理・臨床研究審査委員会 臨床研究事務局  
電話：048-665-6111(代表)